



わかたけ 児童像 ○わかるまで追求する子 ○かんがえて行動する子 ○たすけあい感謝する子 ○けんこうで働く子

教育目標 「21世紀をたくましく生き抜く、人間力の基を育てる」

『十一屋小学校のよさを生かした「地域・保護者と歩む学校」を目指して』

学校像

- ① 子どもたち 一人一人に寄り添う 共感的な学校
十一屋小の「よさ」を生かした一人一人の子どもへの共感的なかかわり
- ② 学び合う教師＝学び合う子ども＝学び合う学校
子どもたちが考える・表現する・わかる授業をめざした学び合う学校経営
- ③ 保護者・地域の信頼と期待に応える学校
地域・保護者の声を聞き、学校の「今」を発信する双方向に開く学校
- ④ 教育活動の成果は、子どもたちの姿で問う学校
具体的な子どもたちの姿で、教育活動の成果を問う学校評価

Learn from yesterday.
Live for today.
Look tomorrow.

教師像

- ① 教育に対する熱意と使命感をもつ教師
- ② 豊かな人間性と思いやりのある教師
- ③ 子どもの可能性を引き出し伸ばすことができる教師
- ④ 組織人として責任感、協調性を有し高め合う教師

だいじょうぶ。
未来は元気だよ。

重点事項

- ① コミュニケーション力の育成
・思いを伝え合い課題を解決し自己や集団を高めていく力の育成
・授業でのねらいを明確にし、よさを実感できる交流活動の工夫
- ② 学力の向上と豊かな心の育成
・生徒指導、行事等と関連させた道徳の時間を充実
・ICTの特性を生かした学力の個人差への対応
- ③ セーフティーネットの構築
・相互の結びつきを大切にしたい肯定的な集団作り
・安定した学校生活のため学びと心のセーフティネット
- ④ 組織的な指導、対応
・「報・連・相」を行いチームでの課題解決や積極的な指導の実施
・問題発生時、複数で行う早めの保護者等への対応
- ⑤ 指導観の共有
・いつでもかわらない一定の態度や冷静な言葉
・援助の限界点を設定(ここまではできるけどこれ以上はできない)
・一貫した視点で話を聞く(きちんとした枠組みと制限の中で)
・低学年では受容、認めることを大切にする
・中学年では失敗を認め、正しい方向を見つめさせる
・高学年では、適度な距離感で、自律の道を探らせる

313のわかたけとともに 313のわかたけのために

本年度の指導の重点

- ① 個人差に対応する学習と生活の基盤作り
・学習支援、相談室やいずみ室の活用、心の日やアンケート、ケアタイムの活用
・落ち着いた学習環境を整えるため、生活のきまり、学習規律の徹底
・生活テーマ等を手がかりに、めざす姿を視覚化しての共感的指導の展開
・基礎的学習事項の習得のため、朝自習やわかたけカップ等の取組
・感染症対策とともに、効果的な学習指導の工夫、教育活動の精選と充実のバランス
- ② 主体的対話的な学習の推進
・課題解決型学習におけるICTを活用した金沢型学習スタイルの実践研究
・一人一台学習端末が当然な学習環境での個別・最適化された学びの実現
・表現して考える活動の充実のため「聴く・話すの合い言葉」の活用
・「わかった」「できるようになった」等の実感できる授業展開の工夫
- ③ より良い人間関係作りのための生徒指導と特別活動の推進
・「金沢子どもかがやき宣言」を意識した児童会活動や行事の工夫の積み重ね
・無言清掃や委員会活動での奉仕の姿に対する肯定的な評価の工夫
・児童にとって意識化及び実践へとつながる年間を通してのあいさつ運動の展開
- ④ 地域や家庭と連携した教育活動の推進
・コミュニティスクールや地域学校協働活動の活用
・十一屋小の「今」を伝えるための、学校・学年だより等の発信
・家庭の理解・協力のもとに家庭学習の充実
- ⑤ 特別支援教育の充実への取組
・子どもたちの実態把握、状況に応じたきめ細やかな指導の工夫
・相談機関や方法の選択肢を複数用意した多様な視点できめ細かい相談体制
・家庭との密な連絡、関係機関との連携